

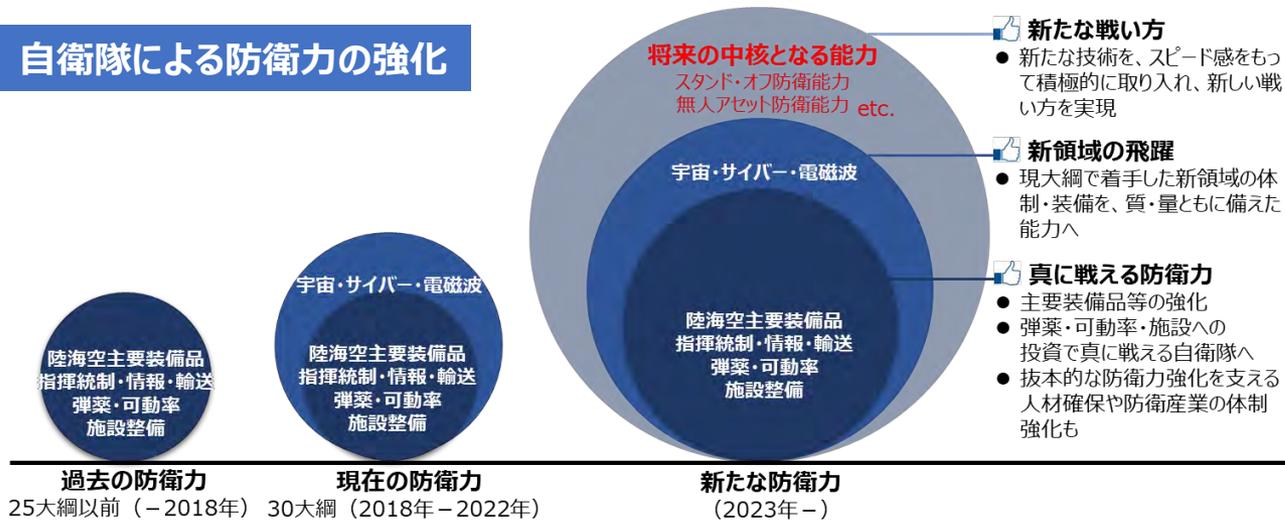


# 防衛と我が国経済

# 防衛と我が国経済

- 日本経済の成長には、安定しかつ見通しがつきやすい国際環境が不可欠。同時に、防衛力の強化には、日本経済の安定的な成長が重要
- 国際社会が戦後最大の試練の時を迎える中、**国民生活や経済活動に対するリスクが顕在化し、企業の生産やサプライチェーンにも負の影響。**防衛力の強化は、力による一方的な現状変更を抑止することで、こうしたリスクや影響を極小化し、経済成長や企業活動をより強固なものにする
- **防衛関係費の約9割は国内向け支出。**今後の防衛力の抜本的強化は**国内産業に寄与し、防衛生産・技術基盤の維持・強化は経済成長の観点からも重要**

## 自衛隊による防衛力の強化



## サプライチェーンの規模の例

▶ F-2戦闘機

→ 約 **1,100** 社



（H29 日本航空宇宙工業会調べ）

▶ 護衛艦(DD)

→ 約 **8,300** 社



（H25 日本造船工業会調べ）

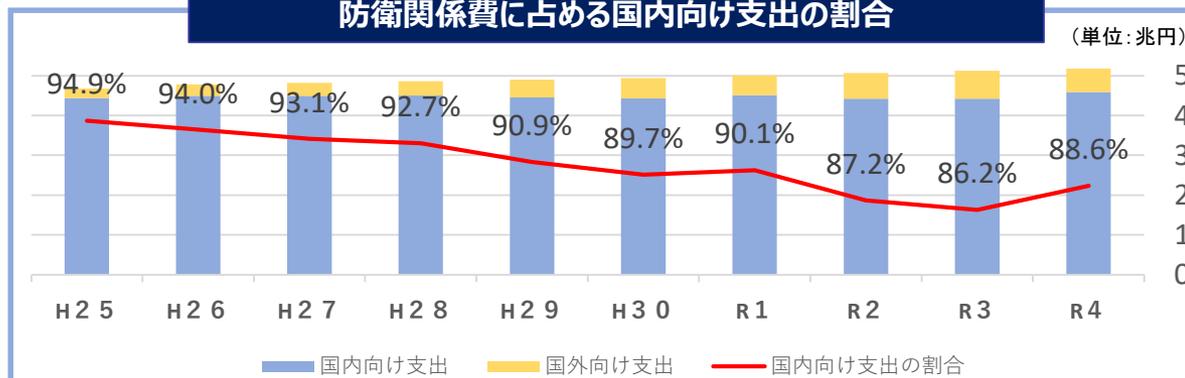
▶ 10式戦車

→ 約 **1,300** 社



（H28 防衛装備庁調べ）

## 防衛関係費に占める国内向け支出の割合



## 国内基盤の維持・強化

- 装備品のライフサイクル（研究開発、生産、維持整備、能力向上等）を担う防衛産業なくして我が国の防衛力は発揮し得ず、**防衛産業は「防衛力そのもの」**
- レピュテーション・リスクや低い収益性、それらに起因する事業撤退、さらにサイバー・セキュリティ、サプライチェーン・リスク等、防衛産業を取り巻く様々な課題に対応することが必要
  - ⇒ より踏み込んだ取組を実施し、**力強く持続可能な防衛産業を構築**
  - ⇒ 防衛産業の販路拡大にも資する、**防衛装備移転を国が主導して推進**



**国内基盤を維持・強化することにより、防衛力の中核たる装備品の安定供給を実現**

### 防衛産業の特殊性

- ▶ 高度な要求性能や保全措置への対応の必要性
- ▶ 独自仕様、少量多種生産
- ▶ 長期にわたる生産・維持整備体制の確保の必要性
- ▶ 顧客は基本的には防衛省に限定



航空自衛隊KC-767空中給油機の整備  
(出典：川崎重工業(株) Webサイト)



フィリピン 警戒管制レーダー移転  
(2020)

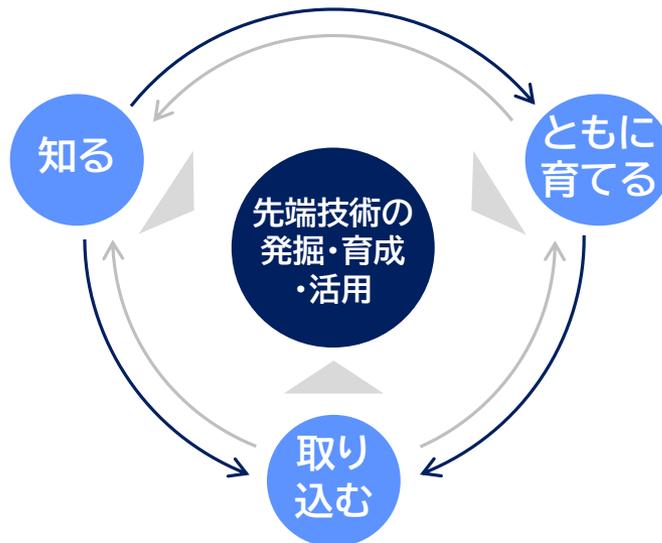
※上記2枚の写真は、自衛隊のレーダーであり、フィリピンへ移転するものとは異なる

## 科学技術・イノベーション

- **量子技術やA Iといった民生先進技術**は将来の戦闘様相を一変し得るもの。  
こうした中、科学技術・イノベーションの成果を、**真に防衛の役に立つ形で積極活用**できるような仕組を構築することが重要
  - ⇒ **研究開発に係る予見可能性**を高めるとともに、スタートアップ企業等と防衛産業とのマッチングも推進し、**民生先進技術の取込み**を拡大
  - ⇒ 防衛省と関係府省の連携を強化し、**政府による研究開発の成果を防衛に積極活用**
  - ⇒ 防衛イノベーションや画期的な装備品を実現するための研究開発を推進するとともに、**民生へのスピノフ**により、我が国全体の科学技術・イノベーションに貢献



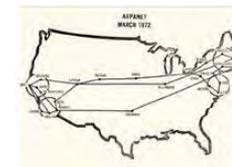
2019年に公表した  
研究開発ビジョン



民生・防衛の連携のイメージ



地雷探知ロボット



軍用ネットワーク  
(ARPAnet)



ルンバ



インターネット

スピノフの例



JAXAのALOS-3

防衛装備庁の  
2波長赤外線センサ  
を搭載。今後、技術  
実証を予定

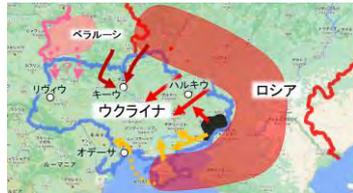
宇宙部局との  
連携の例

# 參考資料

# 我が国を取り巻く安全保障環境

- 国際秩序は深刻な挑戦を受けている
- 今回のウクライナへの侵略のような事態は、将来、インド太平洋地域においても発生し得るものであり、我が国が直面する安全保障上の課題は深刻で複雑なもの

① ロシアによるウクライナ侵略は、力による一方的な現状変更であり、国際秩序の根幹を揺るがす深刻な課題

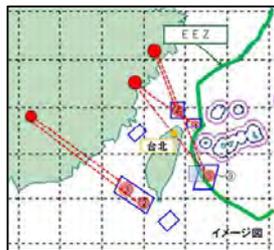


ロシア軍による全面侵攻

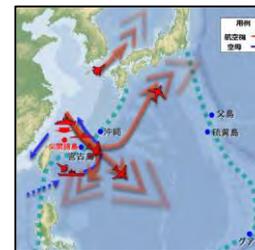


ウクライナはロシアの「偽情報」にも対処

② 中国は、力による一方的な現状変更やその試みを継続し、ロシアとの連携も深化。更に、今般の台湾周辺における威圧的な軍事訓練に見られるように、台湾統一には武力行使の放棄を約束しない構え



本年8月4日に発射した9発の弾道ミサイル  
(うち5発は我が国のEEZ内に着弾)



中国軍の我が国周辺での活動は急速に拡大・活発化

③ 北朝鮮は、弾道ミサイルの発射を繰り返しているほか、核実験の準備を進めているとされており、国際社会への挑発をエスカレート



鉄道発射型の短距離弾道ミサイル



北朝鮮が「極超音速ミサイル」と称する弾道ミサイル